

櫻井村	六五五	四、四一	香掛村	七六〇	四、五四	坂手村	三五四	一、七八	井野村	三三八	一、八三
香取村	七五三	四、六九	弓馬田村	四〇〇	二、六五	内守谷村	二六二	一、四八	小文間村	二九三	一、五八
五霞村	一、三二	七、八四	飯島村	四三三	二、四八	小絹村	四〇〇	二、七〇	六郷村	三五四	二、〇七
静村	四四	二、七七	神大實村	六五	三、八九	大井澤村	三九二	二、四二	相馬町	五二	二、八四
長田村	五〇三	三、三〇	岩井町	六四三	五、四九	大野村	三六六	二、二〇	高須村	二九二	一、七六
八俣村	七五	四、七二	七郷村	六八	四、〇四	高野村	二五	一、三九	川原代村	三五九	一、三三
幸島村	一、二六	七、六四	中川村	六七	三、九〇	守谷町	五二	二、八四	北文間村	三七	一、七四
猿島村	六五	三、九三	境町	一、四〇	五、七四	高井村	二四五	一、三三	文村	三八	一、六七
森戸村	七〇三	四、四〇	長須村	六三	四、〇六	稲戸井村	三三	二、八一	布川町	四五	二、四六
生子菅村	五九	二、七四	合計	二〇、四四二	三、七八	山王村	四八	二、六〇	文間村	三元	一、八四
逆井山村	七〇一	四、三二	菅生村	六四	三、三五	寺原村	二六	一、六四	東文間村	三九	二、〇四
七重村	六〇	三、九六	北相馬郡	六四	三、三五	取手町	一、〇〇	四、八一	合計	九、三五	五、六七

統計調査員異動

(上は新任括弧内は舊)

昭和十二年十二月廿三日 新治郡眞鍋町
野口 清次 (小野吉太郎)
全 十二月二十八日 久慈郡東小澤村
大貫藏之介 (大貫誠之允)
全 十一月一日 久慈郡佐都村
武藤 誠 (武藤好文)
全 日 水戸市

三村 貞 (草間 恭齊)
全 十月三十一日 那珂郡靜村
石川 清 (富山 國壽)
全 十一月十七日 筑波郡久賀村
坂入 章 (坂入伊三郎)
全 十一月十九日 結城郡絹川村
宮田 慎治 (廣瀬松一郎)
谷澤晴一郎 (山中 理)
全 十一月十六日 猿島郡神大實村
山口市雄 (山口 傳造)

統計主任者異動

(上は新任括弧内は舊)

昭和十二年十一月二日 新治郡新治村
皆川源次郎 (押野 虎一)



統計相談所

統計に關し疑問なり又は不明な点がありましたら、御問合せ下さい。御用合せて、町等に於て、答へ致します。

【問】 園藝農産物蔬菜及花卉ノ三のツケナとして報告すべきものは白菜のみを指すものなりや白菜以外の漬菜をも含むものなるや

【答】 白菜のみにあらず凡て漬菜を調査記入して掲上のご故に白菜の收穫高より多くなるべきを要す

【問】 白菜の豫想收穫高は發芽後幾何もなかくして調査することゝなるも本作物の如きは虫害、風水害、雨害等に依り甚大の被害を受くべきものありては全く收穫を豫想すること困難なるを以て單に反別のみを調査することゝしては如何若し收穫をも豫想する場合にありては調査期を延期するを要す

【答】 御意見の趣旨は認むるも農林省の通

際により調査するものなるを以て今直ちに改むるを得ざるに付暫く此の儘調査せられたし

【問】 米生産統計中屑米は如何に取扱ふべきや

【答】 玄米を以て調査することゝなりおるを以て屑米は調査の範圍外なり

【問】 甘藷切干には蒸熱して切干とし食用とするものと生の儘の切干としてアルコール原料となすものあり右は何れも調査すべきものなるや

【答】 右は各別に調査することに各市町村長宛通牒を發せり

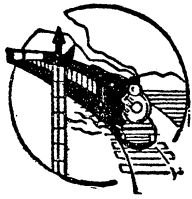
【問】 沿岸漁業に掲上すべき漁獲物は五噸以上の船舶を以て漁獲するものにして五噸未満の漁船及陸上より釣糸並に控網に依り漁獲するものは凡て沿岸漁獲物表に掲上すべし

【答】 帽体のみを製造するものには其の未成品の數量及價額を調査すべきものなるや

【問】 帽体のみを製造するものにおいて製造場數及職工數のみを調査し製品の數量及價額は調査を要せず。右と反對に帽体を買入れ之に加工して製品となす工場あるときは其の場數、職工數、生産數量は勿論掲上し、價額も製品の全價額を掲上するものとす

【問】 セメント瓦は調査を要せざるや

【答】 瓦及土管に掲上する瓦は燒成のもののみなるを以て同表の範圍外なるも各種工産物(其の四)の化工品欄「セメント製品」として掲上するものなり



各地統計雑信

調査員諸君
何なりと奮
つて御通信
を願ひます

四四

那珂郡東部統計事務研究会

統計協會那珂郡支部東部支會統計事務研究会は十二月三日全郡五ヶ村役場に於て開催、縣よりは吉見屬が出席した、午前十時四十分開會、石川全村々長の挨拶に次ぎ吉見屬より米生産統計調査に關する説明をなし質疑應答の後午後一時五十分終了、同村に設置しある錦修寮を視察し午後三時散會した、尙當日の出席者は石川村長、海野書記外十五名であつた。

久慈郡中部統計事務研究会

久慈郡中部統計事務研究会は去る十二月一日、二日の兩日天下野村役場に開催し縣より高島屬出席した、午前十時内田天下野村長の開會挨拶あり、續いて高島屬より縣提出會議

事項に依り詳細説明をなし質疑應答をした、特に本年より改正せられた米生産統計並に牧野調査に付ては細微に涉り研究をした、出席者左の如し。

- 鶴田書記(中里) 助川書記(賀美) 小田部書記(小里) 根本書記(天下野) 金澤書記(榮和田) 荒井書記(金郷) 大森書記(世喜) 會澤書記(金砂)

多賀郡北部統計事務研究会

多賀郡北部統計事務研究会は十一月二十七日多賀郡南中郷村役場に於て開催、縣よりは成瀬屬が出席した。午前十一時瀧副會長開辭を述べ、成瀬屬より米生産統計調査並に牧野調査に付説明あり、更に一般統計事務に付協議を遂げ質疑に答へ午後二時閉會した。當日

の出席者は左の通りである。
△南中郷村中川助役、瀧書記△高萩町沼田書記△磯原町長瀨書記△華川村鈴木書記△關南村中軍書記△大津町二田書記△平湯町本瀧書記△關本村水野書記

鹿島郡支部統計事務研究会

鹿島郡支部統計事務研究会は十一月二十七日日鉾田町役場に於て開催した、縣統計課より審統計主事補が出席、午前十時酒井郡支部長の開辭について縣提出事項に就き審主事補より詳細説明の後質疑應答を行ひ午後一時閉會した尙出席者は左の通りである。

- 夏海村(今泉書記) 大同村(大崎書記) 大谷村(豊田書記) 中野村(小澤書記) 沼前村(小沼書記) 波野村(大川書記) 巴村(重藤書記) 豊郷村(錦織助役) 徳宿村(高崎書記) 豊津村(野口書記) 諏訪村(酒井助役) 鹿島町(武藤書記) 鉾田町(竹内書記) 高松村(木瀧書記) 新宮村(井川書記) 息酒村(大塚書記) 上島村(中根書記) 輕野村(城之内書記) 白鳥村(菅谷書記) 若松村(菅野書記) 矢田部村(長谷川書記) 波崎町(石川書記)

梅、桃、櫻桃、枇杷

昨年の集計成る

昭和十二年中に於ける縣下の園藝農産物果實の三即ち梅、桃、櫻桃、枇杷の收穫高集計は舊臘縣統計課から發表された梅の收穫高は一萬六千三十二石(十九萬八千八百八十七圓) 桃は十七萬四千七百七貫(五萬一千四百三十六圓) 櫻桃は百三十四貫(七十一圓) 枇杷は二萬六千九百九十七貫(一萬四百二十一圓) で樹數は梅百四十一本、桃四百七十八本、櫻桃三本、枇杷百十七本と昨年比し何れも減少して居るが價格は梅三萬二千九百圓、桃一千二百三十三圓、櫻桃三十圓、枇杷三千三百圓と夫々増加を見た、右は天候が概して適順であつた爲増収を見たのと價格の値上りによるものである。

調査員手當を國防献金

鹿島郡高松村で

鹿島郡高松村統計調査員左記十三名は昨年中調査員手當を醸金三十圓を鹿島警察署を経て國防費へ献金し村民を感激させた

- 平内清太郎、富島初太郎、平山清太郎、吉川慶三郎、給前巳之助、橋本磯吉、辻注連松、橋本藤吉、齋藤國三郎、大宮邦三郎、内野平次、内野小市郎、根本得一郎



渡邊幹事逝く

縣統計課主席屬、縣統計協會幹事渡邊健吉氏は昨春來健康を害し水戸市新屋敷の自宅で静養中のところ、舊臘六日長逝した。渡邊氏は大正十五年七月以來統計課にあり温厚篤實一意統計事務の刷新向上に努め縣統計協會成るや幹事として會務に貢献するところ多く衆望を荷ひ益々その手腕に期待されて居たが再び起たず、春秋尚ほ豊なるに其の訃を傳へられたのは惜しみも餘りあるところである。謹んで瞑福を祈り、同氏の略歴を左に掲げる。(寫眞は渡邊健吉氏)

渡邊健吉氏は明治二十七年二月猿島郡境町に生れ明治四十四年猿島郡役所に職を奉じ大正七年猿島郡書記に任ぜられ大正十五年七月地方官官制改正と同時に茨城縣屬に任じ知事官房統計課勤務を命ぜられ爾來統計事務にたづさはり功により昨年七月勲八等に叙せられ瑞寶章を授けらる。



短歌

丹 四 郎 選

『國旗』『冬雜詠』

(賞)

亡國の民もおのづと順ふて日の丸振るを見ればかなしも
雪ふかくとさす北支も日の御旗なびき渡りて年たちけり
西風吹きて寒さ募りぬ井戸ポンプも初夜のうちより凍つてつ
きにけり
新治郡藤澤村 愛村 耕夫

米調査結果表まで抄りて今宵安けく床に就きけり
齒痛みを眼りに就けぬ夜のくだち雨は變りて雪となるらし
小夜更けて雨となりたる工場にサイレンの音寒うひびけり
折れ伏せし黍の畑の遠山に今朝はま白く雪降れる見ゆ
北相馬郡東文間村 堀越 正直

芒穂の残れる野邊に木枯の吹きすさびつゝ暮れにけるかも
日章旗高くかゝげて南京の入城式を祝ひけるかも
今年作増収見たる結果表に微笑む村長の検印うれし
行方郡武田村 堀 草風

初明り軒にはためく旗の色
元日や喜びあふぐ空の色
吠織る納屋の戸にあり冬の月
風一つ夕焼空に残りけり
末なりの無花果青き落葉かな
木の實の背うすら乾きぬ涼
鐘撞くや人かへりみる霜の朝
物の種小春の椽に干しにけり
雪の戸を叩けは遠く答へけり

水戸市袴塚町 大高 靜香
行方郡武田村 堀 草風
稲敷郡君原村 小松澤 霞翠
新治郡瓦會村 増子 よし女
同 同
同 同

北相馬郡東文間村 堀越 正直
同 同
同 同
同 同
同 同
同 同
同 同
同 同
同 同
同 同

秀逸

北相馬郡東文間村 堀越 正直
同 同
同 同
同 同
同 同
同 同
同 同
同 同
同 同
同 同

次の課題

題『冬季雜』一人十句迄

締切 昭和十三年三月五日嚴守

爐端べに散れる玩具の一つにも在りし日の兒を思ひ出されぬ
(三兒幸子逝く)

水戸市袴塚町 大高 靜香
野の家にもさゝやかな松の立てられて國旗ひらめく軍國の春
朝まだき霜明りする楳野原進軍ラツバ鳴り響きげり
行方郡延方村 黒須 惠三郎

外つ國の都の城にうち靡く御旗は思へ元旦にして
南京城墜にうちひるがへる日章旗天つ光はさし初めにけり
前田 裕 春選



俳句

題『冬季、正月雜』

東茨城郡石崎村 櫻井 星光
戰捷の春を迎へて杜蘇の酔
行方郡武田村 小貫 九區男
爐火照るや土間に隙なき米俵
全 延方村 黒須 一雅
初霜や土堤ゆく馬士の頬冠り
北相馬郡守谷町 長谷川 憲太郎
電線に風のかゝれる夕日かな
鹿島郡中野村 高田 華穂



柳川

山中 緋郎選

行方郡大和村 内田 六統生
十二月バットのからを蹴つて見る
西茨城郡宍戸町 内 桶 柳水
初春の粧ひ妻や見直され
水戸市 大高 靜香
正月にもうなつてゐる羽根の音
北相馬郡東文間村 宵雪 迂人
強がりと言ひつゝ蔭は逃げまどひ
行方郡延方村 黒須 惠三郎
鹽鮭臑吊るされて十二月
行方郡武田村 堀 草風
子の風は軍歌になつてよく揚り
征地から着いた賀状を母拜み

次の課題 『雜詠』

締切 二月二十日
宛名 茨城縣廳内統計協會

茨城統計と廣告の 効果

『茨城統計』は縣下二百七十九ヶ市町村及び各市町村の統計調査員約四千名は勿論縣下各種團體、會社、工場等に配付し、中央各省、道府縣へも漏れなく配付するものにて廣告の効果偉大なるものがあると信じます。

●本誌の廣告料金は左の通りです

- 特別(一頁(表紙表裏)) 金拾五圓
- 特別(半頁(同)) 金八圓
- 普通(一頁) 金四圓
- 普通(半頁) 金貳圓
- ▼同一廣告を引續き二回以上のときは二割の割引をします。
- ▼同一廣告を引續き五回以上のときは二割の割引をします。
- ▼廣告に寫眞挿入又は木版を要するものは其の費用を別に申受けます
- ▼廣告料は前納に願ひます。

茨城縣廳内

茨城縣統計協會

編輯後記

支那事變の渦中にあり乍ら斯くも平穩な新春を迎へ今更の如く大御後威の有難さと神州に生を享けた者の感激と、皇軍の威武とに感謝の念を禁じ得ないのであります。それにつけても支那國民政府の壓政と、軍閥の暴虐とに苦しむ無辜の良民に對する同情の湧き起るものがある。今異郷の酷寒と物資の缺乏とに悩み乍ら東亞平和確立の聖戰に活躍する我が將士の上に優渥なる天恩の豊ならん事を祈る次第である。

★ 統後にある我等は新春の喜びを満喫すると共にます、出征將士の後顧の憂なからん事を期し、國民精神總動員の成果をあげ協力一致國威宣揚に寄與する覺悟を堅くしやうではないか。

★ 本年は正月早々臨時労働統計實地調査などが施行されるので縣下の統計主任各位は忙しい事であらう。統計調査の様な地味な骨の折れる仕事はほんとその使命の重要さを自覺した者でなければ成績をあげる事は出来ないものである

来る年も来る年ともいふ感がないでもないが一年の計は矢張り正月にたて、準備に遺漏なきを期すべきである。

★ 『茨城統計』も各位の絶大な御援助によりて第四年の春を迎へた。今年こそは内容の充實したものになりたい、それにはどうしても各位の御指導御鞭撻を願はなければならぬ。實務に御忙しい事は御察しするが是非來月號からは各位の玉稿を得て誌上に華を添へたいものである。

昭和十三年一月十三日印刷
昭和十三年一月十五日發行

(隔月一回十五日發行)

一部金十錢

水戸市北三ノ丸茨城縣廳
茨城縣統計協會内
發行兼 編輯人 川崎末吉
水戸市南三ノ丸一〇七ノ二
印刷人 柴博
水戸市南三ノ丸一〇七ノ二
印刷所 柴印刷所

水戸市北三ノ丸 茨城縣廳内
發行所 茨城縣統計協會